

清水高原(きよみずこうげん)歳時記(長野県道完走編)

≪長野県山形村≫(やまがたむら)

第8集

(長野県道 1 号線～508 号線)

NO.50 木島平～野沢温泉(千曲川右岸)

(長野県道 38 号走破)(長野県道 353 号走破)(長野県道 354 号走破)(長野県道 451 号走破)

NO.51 蓼科高原バラクライングリッシュガーデンとハケ岳南山麓

(長野県道 191 号走破)(長野県道 484 号走破)

NO.52 おしぼりうどんと坂本宿

(長野県道 160 号走破)(長野県道 340 号走破)

NO.53 県道 25 号(塩尻鍋割穂高線)りんごの花

(長野県道 25 号走破)

NO.54 下諏訪木落とし坂から八島湿原

(長野県道 199 号走破)(長野県道 184 号走破)

NO.55 千畳敷カール(バスに乗らないと行けない)

(長野県道 75 号走破)

NO.56 もし県道 449 号(上竹田波田線)が改良されれば

(長野県道 449 号)

清水高原(きよみずこうげん)歳時記(長野県道完走編)

NO 道50

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.2.6

木島平～野沢温泉(千曲川右岸)

澤田 繁 著

(長野県道 38 号走破) (長野県道 353 号走破) (長野県道 354 号走破) (長野県道 451 号走破)

2021.5.11 豊田飯山インターまで高速で走り、飯山駅に向かう、飯山で田中酒造の「水尾」を買い県道 38 号線(飯山野沢温泉線)を野沢温泉に、千曲川に架かる網切橋を渡り千曲川右岸に、2002 年まで運行していた「河東線(木島線)」の跡が見えた。「終点の木島駅跡」を避けた形で 38 号線のバイパスが出来ていて、しばらく走ると木島平村に入る。木島平村の中心地を通り北上する。飯山市瑞穂(旧瑞穂村)に入り約 1km 程行ったところが「飯山市菜の花公園」



でした。県道 38 号線からは花が咲いていてもよくわからないで入口(いくつもある?)の案内を見過ごさないように、駐車場に車を止めて歩いて丘に登り菜の花を楽しみました。期間は 4 月下旬から 5 月中旬までのようです。



菜の花公園から野沢温泉に行く途中に北竜湖の案内が気になっていたのも、後日(2023 年 5 月 30 日)に野沢温泉側から寄ってみました。なかなかいい所でした。野沢温泉に着きました。野沢温泉に来たのは学生の時(1970 年前後)が初めて、民宿泊りでスキーだったと思います。社会人になってからも、松本から日帰りでスキーに来た事がある。長野オリンピックの時、娘が学生でオリンピックボランティアとして、確か野沢温泉に派遣された。野沢温泉会場は長野(オリンピック村)から少し遠いので、競技はトライアスロンであった。職場からも一人プリンターを持って派遣されましたが私ではなかった。野沢温泉村の中心地に入り、県道 38 号線の終点の豊郷横落交差点に到着(県道 38 号走破)。

温泉街は道が狭く駐車場も少ないので、歩かなくなった私が行くところは、「麻釜」です。そこで麻釜前のみやげ屋で、温泉饅頭を買って食べます。野沢温泉と言えば、スキー・温泉・野沢菜です。野沢菜は野沢菜発祥の地として有名なお寺健命寺の原種は 250 年引き継がれた貴重品と言う事と温泉で洗う事が有名

です。

豊郷横落交差点に戻り、今度は県道 353 号（野沢上境停車場線）を走りました。棚田を抜けると赤滝川の川沿いを国道 117 号線（＝千曲川）まで行きます。左に曲がり 400m で右に曲がり橋を渡って右折し 300m で飯山線上境駅に到着（県道 353 号走破）。その日は、「なべくら高原」まで足を延ばし豊田飯山インターから帰宅しました。

2022.12.12 信州中野インターで降り、オリンピック道路から国道 403 号に入りました。よませ温泉スキー場のそばを通り、

山道を登り北志賀高原に、「須賀川そば」の店が何軒かあり一軒に行った事がある。ここからは下りになる。山間を走り「樽滝」（赤い太鼓橋が架かっている）の先、川を渡らず右に行く、県道 451 号線（七曲西原線）はここを起点として、樽川沿いに走り、右折し 600m で県道 354 号と交わり県道 451 号の終点（県道 451 号走破）。以前に国道 403 号を通らず「高社山」北側にある「木島平やまびこの丘公園」にダリア（9 月

月上旬～10 月中旬）を見に行ったりすることがある。「牧の入高原スノーパーク（木島平スキー場）」にも行ける道がある。

県道 354 号線と交わった後、馬曲温泉まで往復しました。馬曲温泉は 2 度目でした、「ぼくちそば」を食べ、土雛のかわいいのを買ってきました。「ぼくちそば」はつなぎに植物のおやまぼくち（キク科オヤマボクチ科アザミ類）の葉の繊維をつかった



もので、飯山市富倉地区が発祥とされる。山菜で別名やまごぼうと言われる。往復した後、県道 354 号線の続きを走りました。中村交差点で県道 38 号線と交わりました。このあたりが木島駅跡と聞いていましたが、調べて見ると駅はもっと千曲川寄り、県道 354 号線はよくわからなかったが駅跡まで線を引いて見ました（県道 354 号走破）。この日は河東線の跡を中野市まで見ながら走行、信州中野インターで高速に乗り帰宅しました。



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.2.13

蓼科高原バラクライングリッシュガーデンとハケ岳南山麓

澤田 繁 著

(長野県道 191 号走破) (長野県道 484 号走破)

2022.5.3 妻と娘と孫 2 人で岡谷インターで降り、ビーナスラインから蓼科湖まで行き、ここで休憩し蓼科高原バラクライングリッシュガーデンに行きました。

「バラ色の暮らし」を略して「バラクラ」と言う、バラ園ではなくイングリッシュガーデンで、ネット案内に「蓼科高原 バラクラ イングリッシュ ガーデン」を開園したのは 1990 年の初夏です。約 1 万平方メートルの地に、オーナーであるケイ山田の統一デ



ザインのもと、設計から石工、ガーデナーまで、庭園の全てを英国人専門家により創園。日本初の本格的英国式庭園として誕生いたしました。英国式庭園は、花々のやさしい色と香り、そして蝶や蜂が飛び交い鳥が唄う、心地よい癒しの空間です。当初、英国から移植した 2,500 本もの草花をはじめ、私たち自らが植えた植物たちは造園デザインとともに美しく見事に成長しております。・・・とある。



庭園内を散策しました。知っている花から珍しい花まで多くの花を見ることが出来ました。上の花はバラクラのシンボルフラワーである「フリチラリア」の花です。季節的にベストの時期でした。

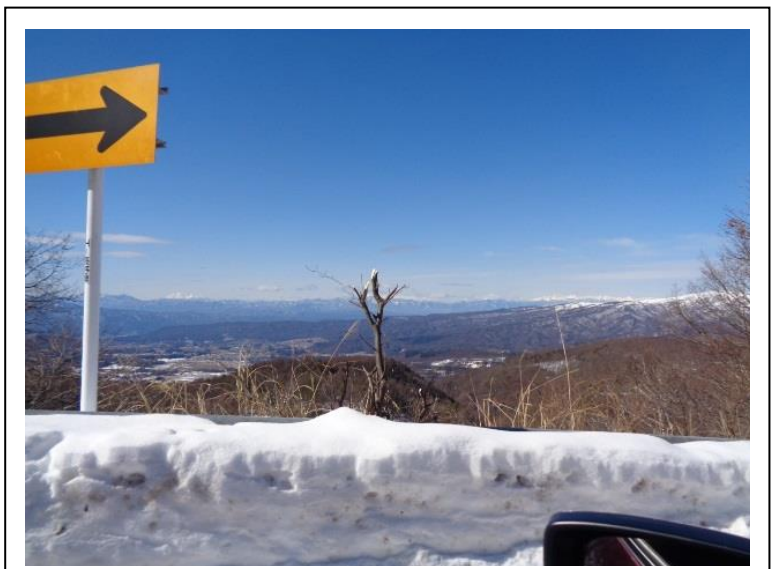
娘も孫も喜んで庭園を歩いていました。腹の出た私もいろいろの花を見れるので、息を切らすことなく歩く事が出来ました。女房は帰りに娘から「バラクラのブラウス」をプレゼントされうれしそうでした。



2022.2.8 諏訪南インターから茅野（御座石神社交差点）の方に県道を走り、御座石神社交差点から国道299号線を八ヶ岳・麦草峠方面に進路を取りました。堀交差点（三差路・県道191号起点）を右折し50mで左折し湯みち街道（＝県道191号）に入る。堀・須栗平・笹原地区（標高1300m）を過ぎると山道になる。標高1520mのところまで登ると以前に一度来た「御射鹿池」に到着、2019.11.5の時案内板には「御射鹿池」は農業用のため池で、農林水産省の「ため池百選」にも選ばれています。東山魁夷が描いた「緑響く」のモチーフとなり、テレビCMなどで話題となりました。水質としては酸性が強く魚は生息できませんからそのことから透明度は高くなっています。水面が穏やかな時には鏡のように周囲の風景が映り込み神秘的な雰囲気になります。>写真も11月の時で紅葉には少し早かった。



御射鹿池の北側の谷が、横谷渓谷で、行くには、堀交差点で県道191号に入らず国道299号線を進むと横谷峡碑と、さらに進むと0.5km横谷渓谷案内が出る。ネットには横谷渓谷は県内屈指の紅葉スポット。特に横谷観音展望台から見る、見渡す限りの山々が紅葉に染まる様子はダイナミックで見ごたえ充分・・・乙女滝から霧降滝、王滝・・・とある。以前に国道299号線から横谷温泉までいったが駐車場がなかったので、さらに国道299号線を登り、案内に従って駐車場に車を止め、歩いて横谷観音展望台に、王滝を見れたが、紅葉時期にはまだ行っていません。



2022.2.8 御射鹿池を過ぎ、前に行ったことがある県道191号線終点の洪の湯まで行こうと思います。少しくと分譲別荘地があり、標高も1650mくらいに上がると景色がいいところに出た。まだ寒かったので車から写真を撮った。さらに登ると洪の湯辰野館の建物があり。さらに登り標高1750mに到達、こ

の辺からは、雪がなければ「コケが一面（ネットから写真借用）に生え壮観の景色が続くところでした。道も細くなったが、なんとか標高 1860m の渋の湯・渋御殿湯に着きました（県道 191 号走破）。すぐにUターンして、山を下り、笹原集落手前の県道 484 号と交わるところまで来ました。



県道 484 号線を南下し 900m 程行くと、横に行ける細い道はいくつかあるものの、県道 484 号はここまで。元に戻り今度は北上しました。国道 299 号線と交わりその先も細くなっていて 100m くらいで途切れてしまいました（県道 484 号線 B 区間走破）。この日は、この後山梨南アルプス方面に足を延ばしました。

県道 484 号線は、2 か所寸断（開通されていない？）されているので、A 区間・B 区間・C 区間に呼び名をかけてつけました。寸断されている B-C の間に鉢巻道路として表示があるのでここを D 区間としまし



た。
A 区間、2022.5.3 蓼科バラクライングリッシュガーデンをでた後、県道 192 号線を茅野方面に、国道 152 号線と交わり、国道 152 号線を北上し、功德寺の横を通り、北山郵便局を過ぎ、100m 先の三差路が県道 484 号（富士見原茅野線）始点となる。右折し 484 号線に入る、1km 程で山道に入る、1km の山道を通ると県道 192 号線に出る（県道 484 号線 A 区間走破）。そこから先は寸断されている。再び蓼科バラクライングリッシュガーデンに戻り（1 周した）ました。この日は茅野市街を通り諏訪インターで帰宅した。

D 区間、2023.7.25 岡谷インターから国道 20 号線を茅野市までいき、山麓方面に、県道 188 号線終点が鉢巻道路の終点となり、ここから八ヶ岳の山麓を走る道路が始まる。茅野市街から伸びてきた御柱道と交わり、ここから県道 484 号線（& 鉢巻道路）となり、2021.2.10 と

2020.6.4 にかけて山梨県道 11 号に繋がるところまで走破（県道 484 号 C 区間走破）。富士見町区間は、道路の両脇が高い木は倒されていて高原道路としてすがすがしい道となっている。富士見高原周辺は若いころテニス合宿などよく訪れた所で、陸上トラックがあったのが当時印象深かった。八ヶ岳山麓道路は、さらに山梨県道 11 号（第 7 集・NO48）によって清里まで八ヶ岳の南を鉢巻の様に走っている。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.2.20
 おしぼりうどんと坂木宿 澤田 繁 著
 (長野県道 160 号走破) (長野県道 339 号走破)

2022. 4. 19 坂城インターから坂城駅前に行き、一気に県道 160 号線(上室賀停車場線)を走りました。駅からは北国街道筋を田町十王堂交差点までいき、北国街道と別れ、国道 18 号線田町交差点を過ぎ、坂城大橋を渡り 3km 程行くと山道に入り、室賀峠を越え、曲がりの多い下りを走り上室賀集落に入り、県道 273 号線と交わり(県道 160 号走破)、273 号線を 200m 下ったところを右折すると、室賀温泉ささらの湯がある、食べるどころや農産物も売っているので、立ち寄って休憩する所です。その日は寄らずに青木村経由で麻績インターから帰宅した。

2022.6.7 県道 160 号線を前回は一気に通ったので、今回はバラとおしぼりうどんを楽しむ事にしました。麻績インターで降り、坂上トンネルを通り戸倉上山田に出て、国道 20 号を上田方面に向かいました。田町交差点を右折し、すぐ(約 10m)で左折し堤防道路を 2km 弱で「さかき千曲川



川バラ公園」に到着。早速散策しました、バラ公園には、330 品種 2300 株のバラがあり、花の最盛期は 6 月頃で、毎年バラ祭りが開催されている。とにかくバラの甘い香りが公園一帯にあふれている。坂城町のホームページ(千曲川バラ公園で検索)に、動画が何本か掲載されているので、匂いは無いが雰囲気は味わる。

バラ園から 18 号線に出る道があり、そちらから田町交差点に戻り左折し、県道 160 号線を「びんぐしの里公園」の入口ま



で行き、左折し公園に入りました。この公園何度か来たことがあります、山のふもとから山に向けて広い公園で、長い滑り台やテニスコートや野外ステージがある。「おしぼりうどん」は公園の入口のく味ロジックワクワカきびんぐし亭>で食事が出来たのに、山の方のくびんぐし湯さん館>に行ってしまうました。受付で「おしぼりうどん」がありますかを聞いた？メニューにはあるようだが、どうもお風呂の休憩場に併設されているようで、入場料金がどうのこうのと言っていたのですが、頼んで「おしぼりうどん」のみを食べることが出来ました。大根の辛味が特徴のおしぼりうどん、辛味が得意でない私だが、なんとか味わう事が出来ました。

「おしぼりうどん」は長野から上田にかけて（特にさらしなの里と呼ばれた地域）、昔から食べられていたもので、女房の話では、子供の頃親たちが今日は「おしぼりやるか」と言って手打ちで作り、よろこんで食べるのに、子供たちはこのからさがなじまず、つらかったそうです。現在では「ねずみ大根」を特産品にもつ坂城町が郷土料理として、有名になっており、大根（辛味大根）をすりおろして絞った「おしぼり」と呼ばれるしぼり汁に信州味噌を溶かし、薬味を加えて、茹でたての温かいうどんを食べる料理である。地元の人、大根の取れる時期（11月～12月）の「おしぼりうどん」の辛さが最高と言っていたが、本当かどうかは、その時期に食べて見ないとなんとも？。湯さん館から、来た方とは反対の道を下り県道 77 号に出た。その日は佐久方面に足を延ばし、三才山トンネルを通り帰宅。

坂木宿は、北国街道の宿場町で江戸から、前に上田宿後ろに戸倉宿がある。しなの鉄道「坂城駅」周辺には、「坂木宿ふるさと歴史館」や「鉄の展示館」があり、両方とも観覧した。「坂木宿ふるさと歴史館」は坂木宿の関連資料の展示と、坂城を本拠地とした戦国期信濃の武将「村上義清」の関連した展示があった。「鉄の展示館」は、村上氏の時代から？・・・刀剣が盛んになり、刀匠の町「坂城」に出来た展示館である。刀以外の展示はなにか思い出せないが、物作りとしては大いに興味ある展示館であった。館の前には、ちょつとした飲み物などが飲める場所がある。

2021.8.24 坂城駅（県道 339 号終点）から県道 339 号線（北国街道）を戸倉宿方面に 500m 程北上し左折すると、街道筋の雰囲気が残る所（200m くらい）になる。左折し 100m で右折、国道 18 号線と交わる。国道 18 号と県道 339 号は重複しており、刈屋原交差点で分岐する。北国街道は国道 18 号に沿って戸倉宿に向かう。

2021.10.26 刈屋原交差点から県道 339 号（新田坂城停車場線）のつづきを走る。信号からすぐに^{こうがい}筭橋を渡る、橋はまず斜度があり登って平になる、道幅は 4.5m と少し狭く感じる、最後は下って道路に出た。「筭」は、以下の説明があったく髪を掻き揚げて^{まげ}鬘を形作る装飾的な結髪用具、ただし次第に結髪後に髪を飾るものに変化した。橋をわたったところが、旧^{さらしな}更級郡^{ちからいし}力石村の力石地区になる。この地名の由来は、千曲川に洪水のときに運ばれてきた巨石を力比べに使ったことから、県道 77 号線バイパスになる前の路線（力石信号を通る）を走った時、神社（清水神社）の前の道路わきで見た事があった。力石地区を走り力石交差点から力石北交差点（県道 339 号起点）で県道 77 号と交わる（県道 339 号走破）。県道 77 号線から坂上トンネルを通り麻績インターから帰宅した。

【付録】

びんぐし（鬘櫛）・鬘（びん）をかきあげるのに用いる櫛。黄楊（つげ）製のもが多く、横長で歯が粗い。く鬘（びん）は、頭の左右側面の髪>

筭の渡し（こうがいのわたし）・天文 22 年（1553 年）4 月の^{かつらお}葛尾城落城の際、村上義清の奥方は対岸へ逃れた。危険が迫る中にもかかわらず、船頭は船を出し、無事に力石へ渡してくれた。奥方は船頭に感謝し、お礼の品として髪に挿していた筭を贈った。以後この渡し場を「筭の渡し」と呼ぶようになった。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.2.27

県道25号りんごの花

澤田 繁 著

(長野県道25号走破)

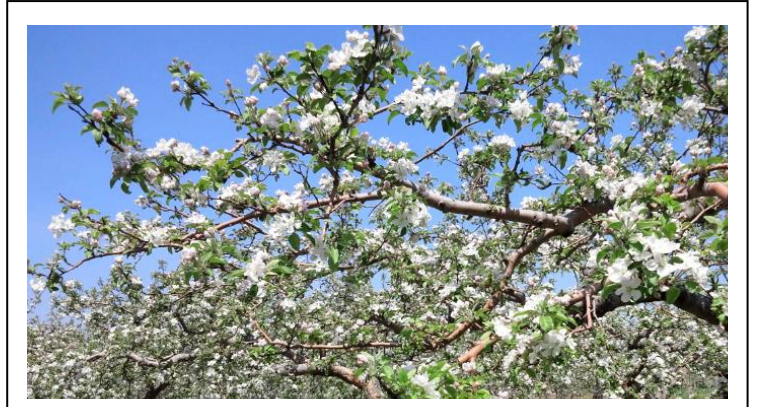
長野県道25号線は、塩尻鍋割穂高線と言って、塩尻市広丘(金塚南交差点)を起点に、塩尻市洗馬の北、松本市今井の南を通り、アルプスの山際の山形村に到達、25号線のほとんどがアルプスの山際をぬって路線がある。山形村から松本市波田(旧波田町)に入り、街中を通り国道158号線とぶつかる、この交差点名、今は波田小学校前だが、まへは鍋割交差点であった。右折し100m程国道を走り左折し、梓川に向かって河岸段丘を下り梓川橋を渡り、松本市梓川(旧梓川村)に入る。河岸段丘は2段になっており、1段目は県道278号線が走っていて、しばらく県道25号線は県道278号線と重複して走り、立田上手町交差点で分岐し、河岸段丘2段目を登ると「りんご畑」が広がる。山際に近い集落まで進み「梓川ふるさと公園」を通り、すぐ安曇野市三郷(旧三郷村)に入る、「ファインビュー三郷」入口を通り、離れ小山の室山?の北の三差路を左折する。その後は、安曇野市堀金(旧堀金村)を通り、安曇野市穂高(旧穂高町)の宮城交差点までの山際路線を走る。ここから大糸線の有明駅に向かって進み、北穂高交差点(終点)で国道147号線に出る(県道25号走破)。

この路線、部分的には日常よく利用するが、25号線走破のためにあまり走らない部分2か所を走り



ました。2020. 8. 22 宮城交差点から穂高北交差点まで、2020. 8. 17 立田上手町交差点から室山北三差路までの2か所です。

この路線で一番きれいなのは、りんごの花の時期だと思います。りんご栽培は、この路線どこでも行われていますが、今井地区と梓川地区には広い範囲でりんご栽培がおこなわれているため、りんごの花の開花期にはすばらしい景色になります。花観賞が目的でないりんごなどの果実は、実がなって消費者に渡るものだが、近年開花時期が早まっている事が原因で、霜による被害が多発している。



沿線にある国営アルプスあずみの公園では、広い公園とさまざまなイベントを催してくれます。「こすもす」「冬のチューリップ」「冬のイルミネーション」などです。

沿線の**そば畑**は、この路線のあちこちにあるが、そば専用畑？はすくないようで、栽培場所が毎年違うような気がする。植えれる時期が長いいためか、そばの白い花の見頃がまちまちである。

沿線の穂高別荘地に、大学の友人が「**そばを気楽に打てる施設**」を開設している。いろいろなグループでそばを打って食べる会を続けてくれています。大学のグループも、長くやってくれているので、7~8名

が**そば打ち**の出来る状態になっている。残念ながら私は、食べるのが専門のためそば打ちは出来ません。彼の別荘に行くには、県道25号線がメインですが、家から行くと、県道278号線と交わった所で左折しすぐ北上し、長い真っすぐなりんご畑を通り、室山北の三差路で県道25号線と合流するルートが早い。約1時間くらいで到達します。大学の友人は、そばから畑で栽培しており、そばの品種にも詳しい。私も3年程、そばを収穫したが、そのあとは友人のそば屋さんに頼んで食べさせてもらっていました。

県道25号線沿線には、そば屋さんが多くある。山際で寒暖差も多い場所でのそば栽培は適していたのかもしれない。特に古くからの「山形村の唐沢そば集落」と「穂高有明のそば屋」は固まって蕎麦屋があった場所です。「山形村の唐沢そば集落」は現在5軒が昼営業しているが、40年前はもう数軒営業しており、会社などの夜の宴会の場所でもあった。そばくい競争を兼ねた宴会には、すずめの丸焼きなどが出てきたり、皿そば（昔は宴会も考えて、器が皿であった）だったり、帰りには腹が膨らんできて苦しかったなど思い出の場所でもある。「穂高有明のそば屋」は、昔は天満沢（そば屋）につれていけば面目が取れたが・・・？、今は周辺の店の方がおいしい所が多くある。県道25号線の宮城交差点から県道327号線を山の方に2km程行ったところを右にはいった所に、そば処くるまやがある。このそばの量は昔から多い、前に四人で行った時、前から気になっていた“**気狂いざる（5人前）**”を頼んで、四人で一生懸命食べた思い出もある。県道25号線には、他に温泉が三郷から穂高にかけて多くある。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

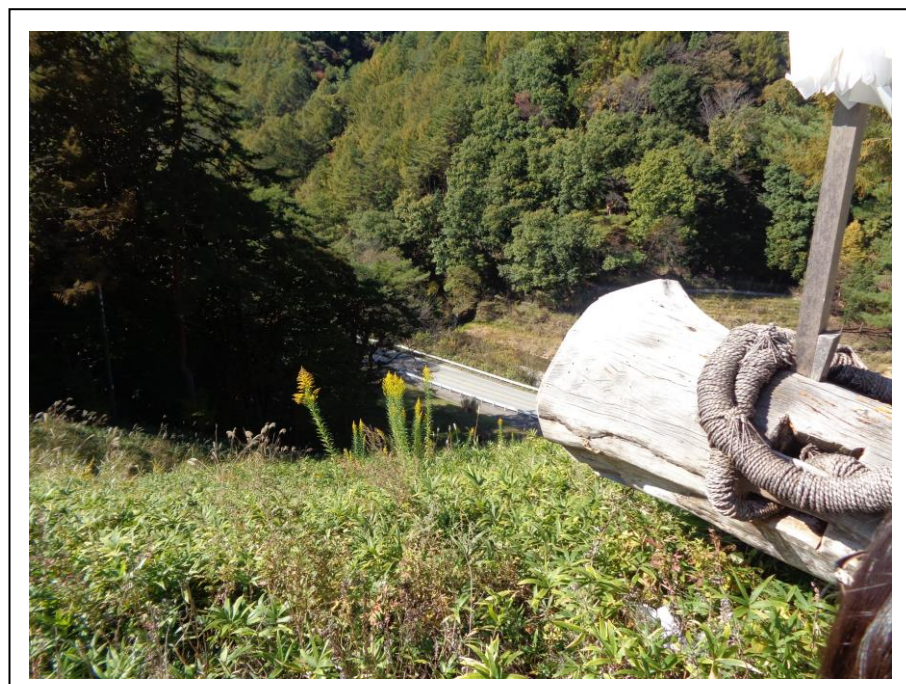
《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.2.27

下諏訪木落とし坂から八島湿原

澤田 繁 著

(長野県道 199 号走破) (長野県道 184 号走破)

2022. 5. 3 岡谷インターから国道 20 号の下諏訪岡谷バイパスを通り、湖北トンネル南交差点を左折し国道 142 号線 (バイパス=新和田トンネル道路) に入る。湖北トンネル・木落とし坂トンネルを抜けると、国道 142 号 (本線) と一緒になる。そこを右折し国道 142 号線を下諏訪方面に 100m 行ったところの三差路が県道 199 号 (八島公園線) の始点となる。199 号線はすぐに登りが始まり、300m 程で「木落とし坂の上」に出た。車



から降りてしばらく下を眺め (最大斜度は35度) てから、さらに御柱を引いて来る道でもある県道 199 号線を進みました、萩倉集落を過ぎると山道に入る。御柱祭諏訪大社下社棚木場 (標高 1100m) までは比較的なだらかな登りだが、ここから終点の八島湿原駐車場 (標高 1640m) までは曲がりの多い急坂になった。途中御柱に使うだろう縦の大木が多くある森林を通過した。駐車場に着き一休みした (県道 199 号線走破)。この日は白樺湖から茅野市に行き諏訪インターから帰宅した。

御柱祭は諏訪大社が元であるが、結構私の身近でも行われている。寅年と申年に行われる式年祭 (六年に一度) である。16 本の神社の周りに建てられた縦ノ木を入れ替える、上社 8 本 (本宮・前宮)、下社 8 本 (秋宮・春宮) に分かれて行く。<下社の御柱>は、まずは、1 年前に伐採し、諏訪大社下社棚木場に保管する。4 月の 3 日間で「山出し」を諏訪大社下社棚木場から注連掛までの 4.7 km 区間を曳行する。5 月の 3 日間で「里曳き」を行う。見所として 1 番は「木落とし」があり、人が何人か御柱に乗り、一気に斜面を落とす所 (ニュースしか見た事は無いが) は圧巻、最後が一番大きい秋宮一之御柱となっている。又お宮の周りに建てる「建御柱」も見所の一つだ。



残り 1.7 km の下諏訪岡谷バイパスの工事が進んでいる湖北トンネル南交差点から山田トンネル (485m) を経て国道 142 号まで、2024 年 1 月トンネルが貫通した。

2021.7.13 国道 142 号線から県道 199 号線に入らず南下し、毒沢鉱泉方面に砥川を渡る。星ヶ丘地区を通り再び砥川手前まで来ました。砥川沿いに左に 150m 行ったところに以前に行った「万治の石仏」がある、その時は石仏の周りを一周してお詣りをしました。砥川を渡った所に「諏訪大社下社春宮」がある。境内に入り、垂直に立てられた御柱を見てお詣りもした。春宮から国道 20 号に向かった。県道 184 号（諏訪大社春宮線）は、ここから国道 20 号線と交差する春宮大門交差点までの路線で参拝道路のようだ（県道 184 号走破）。



春宮大門交差点から国道 20 号を大社大通り交差点まで行き左折し町道（御田町通り）を 100m 程行くと、右に駐車場、左に諏訪御湖鶴酒造場があり、この酒造場は、2021 年 5 月にロンドンで行われた「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」<SAKE 純米吟醸部門>にて『御湖鶴純米吟醸山恵錦』が日本酒世界 1（チャンピオン・サケ）を受賞したニュースは知っていたので、この酒を買いたいと入店したが、やはり売り切れでした。山恵錦は酒米の品種で、県内でも栽培が増えているが県外産もある。この次はこの駐車場で車を止めて、中山道下諏訪宿を散策したいと思います。特に 2024 年 2 月のニュース<伊能忠敬（日本の地図作成者）が下諏訪に逗留した時の食事を再現した下諏訪宿本陣岩波家>を見たので、そこは是非行って見たいと思いました。その日は「秋宮」

に行き、中山道と甲州街道の交点から甲州街道の細い道を走りました。甲州街道は国道 20 号線より山沿いを通っており、道なりに走ると、酒の真澄<宮坂酒造>の前の国道 20 号線に出ました。そのまま諏訪インターから帰宅しました。



2023.4.4 桜の花見の日、①アイシティ（山形村）②弘法山（松本市）③内田公園（松本市）④桃昌寺（松本市）⑤水月公園（下諏訪町・写真）⑥高島城（諏訪市）⑦荒神山（辰野町）⑧宮木（フラワーロード）（辰野町）。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.3.5

千畳敷カール(バスに乗らないと行けない)

澤田 繁 著

(長野県道 75 号走破)

2021.9.7 駒ヶ根インターで降り、右折し県道 75 号(駒ヶ根駒ヶ岳公園線)を菅の台バス停を通過し、大田切川にかかる駒ヶ根橋を渡り、新大田切り発電所まで行きましたが、それより上は一般車両の通行は出来なかったため、引き返し菅の台バス停の駐車場に車を止め、バスに乗って県道 75 号線の終点である標高 1700m の「しらび平」に行きました。「しらび平」から駒ヶ根ロープウェイに乗り標高 2620m の「千畳敷カール」に着きました。レストランで食事をし、しばらく平坦な部分をうろうろして、千畳敷カールを後にし



ました。

帰りは、菅の台バス停の駐車場から駒ヶ根橋を渡り右折して「こまゆきロード」に入りました。大田切川の右岸は、宮田村になる。この辺は高速道路を走っても「田切」を使った名称が目につく、以前に飯島町の国道 153 号線のバイパス沿いに来た「道の駅田切の里」に寄った後調べ結果、「田切」<たぎるから来ている

が地名として日本各地にある、地形としては、扇状地などの緩斜面や台地が河川により深く浸食された結果、河床の低地や急崖によって分断されたものをいう。このあたりでは高低差 50m以上になっている箇所が多く飯田線や国道 153 号線などは数 100m ほど上流側に迂回してカーブを描いて傾斜を緩めるコースをとっている。>とあった。こまゆきロードに入り 3km ほど行ったところの左側に「アサギマダラの里」の案内があり、人もいましたが通り過ぎました。気になっていたので宮田村のホームページを見ましたら、ニュースに「2023 年 9 月 1 日海を渡り、2000 km 以上の旅をする神秘の蝶アサギマダラ・・・。フジバカマが満開に咲く宮田村の「アサギマダラの里」には、毎年 9 月にはアサギマダラたちの美しい乱舞を見ることが出来ます。この神秘的な光景を楽



しみに、毎年多くの写真愛好家や観光客の皆さんが訪れています。>がありましたので、意味が分かりました。清水高原においても、季節は違いますが、春の風物詩として「ヒメギフチョウ」が、我が家のカタクリの花に寄って飛来します。清水高原にきて 45 年以上たちますが、今のところ毎年見ることが出来ます。又かたくりも徐々に増えて来ています。その日は、こまゆきロードを進み後、伊那西部広域道路と交わったところで左折し、伊那西部広域農道を通り小黒川スマートインターで高速に乗り帰宅しました。

県道 75 号線の残りは、2020. 6. 16 木曾から権兵衛峠を越え、高速に乗り駒ヶ根インターで降り左折し県道 75 号線を駒ヶ根駅方面に進みました。国道 153 号線との交点の北町交差点を右折し、国道 153 号との重複区間を広小路仲町交差点まで走り左折し、駒ヶ根駅に到着した（県道 75 号線走破）。駒ヶ根駅周辺はかつて「ソースかつ井」を探して、さまよった記憶がある（本家みたいな所をさがしたのだが、結局良くわからないところで食べた）

ソースかつ井と卵とじかつ井、ソースかつ井の初体験は、大学 4 年（1971 年）の時でした。学校（長野市若里）近くの銭湯の傍の食堂でかつ井を頼んだ時、卵がないかつ井が出てきて？なんだこれ？と思ったのが、ソースかつ井（当時は名称が分からなかった）だったようだ。100 年前くらいに作られたようで、長野県では駒ヶ根駅近くにあった「喜楽」が元祖（現在は駅前ではなく、店名もとんかつきらくになった）と、全国に広めた駒ヶ根「明治亭」が有名だが、福井・会津・・・などにも同年代のルーツがある。

駒ヶ根駅前



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.3.5

もし県道 449 号(中大池波田線)が改良されれば

澤田 繁 著

(長野県道 449 号走破)

2024.2.20 アルウィンの横のバルカン(芭瑠酣)で食事をして、アイシティーまで戻り県道 291 号線を山形村役場方面に移動した。役場手前の信号(記念碑前)から県道 449 号線(上竹田波田線)が始まる。川上屋のそばやの横を通り竹田地区を抜けると波田町下原(現在松本市)になる。田んぼ・すいか畑・りんご畑の中の道(畑の中の道は乗用車同士のすれ違いがやっとの狭さ)を通り、河岸段丘を下ると、前はほとんど桃園だったところの新興住宅地を上高地線の線路手



前まで新路線が伸びている(県道 449 号走破)。

449 号線の改良が進めば、自宅から波田インター(工事中)まで 20 分で行ける事になる。自宅からは山を下りるのに 10 分はかかるので、降りてからは 10 分もあればインターまで行ける、従って山形村の竹田地区の人は 10 分でインターに乗れることになる。波田インター開通と同時に県道 449 号の改良が完成すればいいのだが?。下の左の写真の信号は三溝新田交差点のもので間に上高地線(電車)が走っている。右の写真は昔からの県道 449 号線で下島駅の横の踏切で車一台がやっと通れる(通った先がすぐ国道 158 号線)。

